第４期熊本市中心市街地活性化基本計画骨子について（案）

資料２

これまでの計画のふりかえり

第１～３期計画（平成１９年５月～令和５年３月）

・熊本城本丸御殿の復元
・桜町、花畑地区、熊本駅周辺地区の大規模な基盤整備　など
　→これまで、中心市街地の魅力向上やにぎわいの創出を図ってきた

新型コロナ感染拡大による、イベントの開催制限　など
目標達成へ大きく影響

１．中心市街地の課題

・技術革新など、時代の変化への迅速かつ柔軟な対応
・まちなかのにぎわい創出と回遊性の向上
・まちなかの安全性の向上

計画におけるまちづくりの方向性

・整備してきた都市基盤を最大限に活用
・「点から線」へのステップアップ
・車中心から人中心のまちなかへの転換
・多世代が居心地よく過ごせるまちづくり

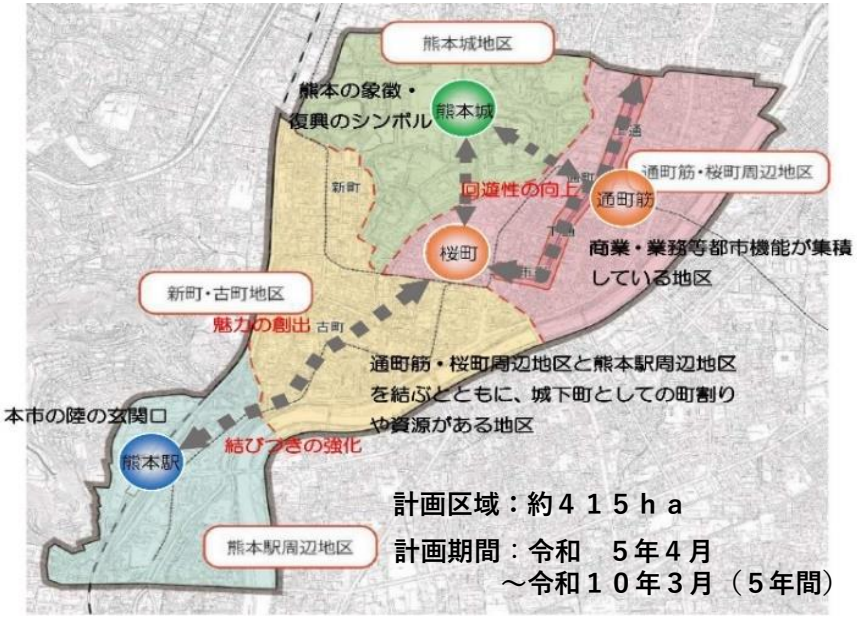
２．目指すまちの姿、基本方針、目標、指標

目指すまちの姿
『昼も夜も歩いて楽しめる、いつまでも魅力的なまち』

⇒　**目指すまちの姿**の実現に向け、官民連携して取り組んでいく

基本方針	目　標	指　　標
時代の変化に応えるまち	時代の変化を見据えた魅力あるまちづくり	桜町・花畑周辺地区に魅力があると感じる市民の割合、熊本駅周辺が魅力的であると感じる市民の割合、中心市街地の満足度、CO2削減量　など
にぎわいあふれる城下まち	にぎわいの創出と回遊性の向上	中心市街地の歩行者通行量、熊本市内の宿泊客数、中心市街地ににぎわいがあると感じる市民の割合　など
安全・安心に住み続けることができるまち	安全で安心できるまちなかへの居住促進	中心市街地内の居住人口、特定建築物の耐震化率、校区防災連絡会の設立割合　など

３．計画区域と計画期間



４．今後のスケジュール

令和４年
　７月　素案の作成
　８月　内閣府に素案提出
　９月　第３回定例会（素案報告）
１０月　パブリックコメント
１１月　内閣府に計画案提出
１２月　第４回定例会
　　（パブコメ結果、最終計画案報告）
　～　内閣府に提出